

○水生生物モニタリング調査結果一覧（真野川D）

＜真野川D 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
D－4 a	○	○	○	○	○	○

＜真野川D 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透視度（cm）
D－4 a	37.7308°	140.9081°	R6.6.26	08:48	09:03	19.0	19.8	砂	10YR3/2	なし	0.12	>50

＜真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
D－4 a	37.7308°	140.9081°	R6.6.26	08:48	7.3	0.8	3.2	7.8	17.9	0.09	0.9	5	3.1	N.D. (0.0016)	0.018	0.00071

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
D－4 a	37.7308°	140.9081°	R6.6.26	09:03	7.4	485	19.6	2.5	2.5	2.710	42.1	33.6	11.3	11.0	2.0		1.7	9.5	2.6	140	0.87

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<真野川D 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
D-3	真野川本流	37.7051°	140.9623°	R6.6.24	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0.037	未成魚	—	—	3.5	N. D. (1.7)	3.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	38	0.56	未成魚/成魚	—	—	3.7	N. D. (0.49)	3.7	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	73	1.5	未成魚/成魚	—	—	6.3	N. D. (1.3)	6.3	0.066
D-4 b	真野川本流	37.7312°	140.9096°	R6.6.23	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.015	—	—	—	14	N. D. (2.5)	14	—
					藻類・植物	接合藻	ホシトマロ	ホシトマロ	<i>Spirogyra</i> sp.	アオミドロ属	—	0.27	—	—	—	2.2	N. D. (0.25)	2.2	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera orientalis</i>	トウヨウモンカゲロウ	330	0.023	幼虫	—	—	8.7	N. D. (1.3)	8.7	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	222	0.054	幼虫	—	—	14	N. D. (1.3)	14	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	226	0.049	幼虫(ヤコ)	—	—	3.4	N. D. (0.93)	3.4	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Nihonogomphus viridis</i>	アオサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Anisogomphus maacki</i>	ミヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	トンボ	<i>Sympetrum</i> sp.	アカネ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	トンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	シオカラトンボ									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	38	0.033	幼虫	—	—	N. D.	N. D. (1.5)	N. D. (1.2)	—
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	65	0.084	成体	—	—	2.6	N. D. (0.73)	2.6	—
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	241	0.10	未成体/成体	—	—	3.9	N. D. (0.56)	3.9	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	4	0.094	未成体	—	—	5.3	N. D. (0.57)	5.3	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	4	0.055	未成魚	—	—	3.5	N. D. (0.86)	3.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	30	0.059	未成魚	—	—	3.3	N. D. (0.68)	3.3	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	23	0.11	未成魚/成魚	—	—	2.8	N. D. (0.47)	2.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>	シマドジョウ	5	0.019	成魚	—	—	2.6	N. D. (2.3)	2.6	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	14	0.48	未成魚/成魚	—	—	5.6	N. D. (1.3)	5.6	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	21	0.051	未成魚/成魚	—	—	2.9	N. D. (0.83)	2.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius kurodai</i>	トウヨシノボリ									
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.28	—	—	—	29	N. D. (1.2)	29	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、 除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。